

補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	遠距離通学助成事業補助金	開 始 年 度	平成11年度
----------------	--------------	------------	--------

団 体 名	保護者個人
-------	-------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	函館市立小学校児童及び中学校生徒通学費補助要綱
-------------------------	-------------------------

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	南茅部地域で、南北の距離が30kmを超えていること、これまでの学校統廃合の経過などを踏まえ、通学距離が小学校で4km、中学校で6kmを超える児童・生徒の保護者に対し、バス定期券相当額を補助している。
目 的	(目 的) 遠距離通学にかかる保護者の経済的負担の軽減
・ 効 果	(効 果) 遠距離通学にかかる保護者の経済的負担を軽減することにより、義務教育の円滑な運営に資する。

○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金		計
		市	その他					
収 入	23	659						659
	24	756						756
	25	1,065						1,065
	26	1,097						1,097
	27	1,161						1,161
支 出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等			計
	23			659				659
	24			756				756
	25			1,065				1,065
	26			1,097				1,097
	27			1,161				1,161

補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	遠距離通学助成事業補助金
----------------	--------------

○基本的視点の再チェック

	基本的視点	適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	通学距離の基準を超える児童生徒の保護者負担を軽減するための事業であり、義務教育の円滑な運営に資するものである。 学校統廃合により通学距離の基準を超える児童生徒の保護者負担を軽減するものであり、補助が必要な事業である。 通学費負担の軽減を図る事業であり、自主性を求めることはなじまない。 補助対象人数などの面から、現状では補助することが最適である。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

○財政的視点のチェック

	財政的視点	不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input type="checkbox"/>	
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input checked="" type="checkbox"/>	補助要綱に基づき、公共交通機関の3か月通学定期券相当額(年4回)を補助している。
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

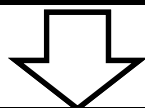
※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

補助金・交付金 チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	遠距離通学助成事業補助金
----------------	--------------

○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)
遠距離通学に要する保護者負担の軽減を図るための補助金であることから、効果の測定方法や具体的な数値等を示すことは困難だが、平成27年度の当該補助金額と、対象地域の近隣で運行業務の委託を行っているスクールバスの平成27年度経費を比較する。
(達成状況)
H27補助金額 1,161千円 < H27スクールバス運行委託料 14,604千円 (小学生5人, 中学生5人) (小学生35人, 中学生2人)
※比較のスクールバスについて 木直・磨光小学校の統合に伴い、平成23年度より旧木直小地区の児童、および遠距離通学となる尾札部中生徒を対象として、古部～磨光小間を登・下校時に運行。



※継続事業は、直近の実績 新規事業は、効果のみ記載してください。

(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 一定の効果をあげている <input type="checkbox"/> 効果が疑問である <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	

○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他	(見直しの内容) 南茅部地域の学校再編方針決定後、地域全体の公共交通のあり方も踏まえ、 見直し の検討を進める。 (見直しの時期) 平成30年度
(廃止の理由) (廃止の時期)	(その他の内容)

○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	次回チェック年度(予定)
平成 30 年度		平成 30 年度